



遠大勵志

大学入試共通テストガイダンス

4日(金)、考查2日目終了後に、第1体育館で3



年生に対して、共通テスト出願に向けた願書作成についてガイダンスが実施されました。共通テストの出願期間は9月28

日(月)～10月8日(木)となっていますが、学校で一括して出願しますので、学校の指示のあった日までにしっかりと提出できる準備をしてください。みなさんにとっては初めてのことから、しっかりと「受験案内」を

読み、それでもわからないことは勝手に判断することなく、担任の先生方に質問して志願票に必要な事項を書き込んでください。



いよいよ受験がスタートするのだということが実感する時期となってきました。先を見通してしっかり準備し始めて下さい。頑張りましょう！！

ソフトテニス新人戦北奥地区予選

★8月31日(月)、和賀川グリーンパークテニスコートで行われました。

【女子】

・佐藤桜子・高橋由凧ペア = 県大会出場

【男子】

- ・第1位 岩村拓磨・及川諒ペア
- ・第2位 猫塚新大・菱谷拓未ペア
- ・ベスト4 藤原涼太・和賀奏幸ペア
- ・ベスト16 前田真希・吉田陽向ペア



以上4ペアが県大会出場。

団体は地区推薦で県大会出場となっています。是非とも県大会で頑張ってください！！

第73回秋季東北地区高校野球

岩手県大会北奥地区予選

9月1日(火)、森山球場において、本校野球部は西和賀高校と対戦し、7回コールドゲームで勝利しました。第3代表決定戦へ駒を進めました。



	1	2	3	4	5	6	7	計
西和賀	1	0	0	0	1	0	0	2
黒沢尻北	0	4	1	2	0	1	1×	9

(7回コールド)

9月5日(土)、森山球場において、第3代表をかけて水沢商業高校と10時より、対戦しましたが、終盤に追い上げ粘りを見せたものの惜敗しました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
黒沢尻北	0	0	0	0	3	0	0	0	1	4
水沢商業	0	0	0	0	0	5	1	0	×	6

9月6日(日)、森山球場において、第5代表をかけて水沢工業高校と13時より、対戦しました。残念ながら、勝利することはできず、県大会出場はできませんでした。是非ともこの冬に鍛え上げて来年度の活躍を期待しています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
黒沢尻北	4	0	1	0	0	0	0	2	0	7
水沢工業	2	4	0	3	0	0	0	2	×	11

運動部での コロナ感染症対策

国内の新規感染者数の増加に伴って、文部科学省から運動部活動での感染防止について連絡がありましたので、さらに徹底をお願いします。

- 1 飛沫感染に注意して、近距離での大声を避けること。
- 2 こまめな手洗いをする事。
- 3 体調の優れない場合は部活動の参加を見合わせて、自宅で休養すること。
- 4 部活動の練習場所や更衣室、食事や集団での移動の際の密を避けること。
- 5 用具については、生徒間で不用意に使い回さないこと。

通信No.32では、文部科学大臣から生徒に対するメッセージを掲載しましたが、ここでは8月25日に文部科学大臣から出された「保護者や地域の方々」へ出されたメッセージを以下に紹介します。

=====

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性はあります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多いと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様には次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒当夜教職員、学校の対応を責めるものではなく、衛生管理を徹底し、更な

る感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の回りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、わかりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

=====

国立大学82校中80校で、一般選抜での「個別試験」において、コロナウイルス感染により欠席した受験生への対応として、追試験を実施することとしたようです。感染しない対策を講じることはもちろんですが、志望校の募集要項などにしっかりと目を通すことも重要です。